

豊前市 A社（製造業）

この講義を受講するまでDXの活用は現場の変革と思っていた。それだけでなく将来・未来を展望したビジネスモデルの変革であることに、インダストリー4.0を実践するドイツを中心とした欧州の事例・戦略を目の当たりにし強烈に納得させられた。

欧州の事例の中には我々がやりたいことが詰まっており目指すべき姿として大変参考になった。

今回学んだ事を受けスマートファクトリーには程遠いが製造プロセス・バリューチェーンの最適化に向け1つずつ取り組んでいきたい。

みんなで参加する講習スタイルであったため周りの方とのコミュニケーションも大変取れやすく楽しく受講出来た。

最後の班毎のプレゼン、こんなにレベルの高いのかとビックリ。鋭い質問に巧みな話術で応戦。とても参考になり楽しかったです。

【受講企業より】

今回の受講報告を受け刺激を受けたと感じています。

係長という立場からも組織内にDXの活用を推進していただきたいと期待しています。

弊社ではDXへの取り組みを行いたいが、まず何から行っていくか、投資と効果が明確になっていないという事もありなかなか導入に至っていない。

事例などの中からも参考にさせて頂けるような内容もありましたので受講した2人を中心に推進していただきたいと期待をしています。

今回のような研修の場面があれば参加させていただきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い致します。

（所属課長）

豊前市 A社（製造業）

5日間に渡って受講させて頂きありがとうございました。

国内や海外の様々な事例を紹介頂き、大変勉強になりました。

DX 取り組みに関する日本と海外の進捗状況の違いが目に見えてわかる場だったと思いました。

実際にフォロレンズを使用したデモをご用意して頂き社内で実際に活用する方法として参考になりました。

グループワークでのプレゼン資料作成では、DX の取り組みに関して様々な意見を出し合い、人前で発表する機会がない自分にとって、より深く考えさせられる場となりました。

緊張しましたが、ありがたい機会になったと思います。

社内での課題は、多数あると思いますので今後の取り組みに生かしていきたいと思います。

【受講企業より】

今回の受講報告を受け DX 推進を促す為のイメージがつかめたと感じられ、とても有意義でした。

DX への取り組みは実際に明確な目的や効果を見出さなければ実行に移すのは難しいと感じています。今回の受講から紹介して頂いた事例やツールをもとに会社としての困りごとやムダに対して改善方法を一緒に考えていてもらいたいと期待しています。

また資料作成や発表の経験を生かしてDXへの取り組みを推進していてもらいます。

今回のような研修の場面があれば参加させていただきたいと考えておりますので、何卒よろしく申し上げます。

（所属課長）

嘉麻市 B社（製造業）

今回の受講の目的は、DX人材育成の為、まず自らが学び知見を広げることにはありましたが、この目的は達成することができた。
ありがとうございました。

カリキュラム前半のデジタル化推進の基礎と

ICT活用の先進事例紹介については、国内外で想像以上に技術が進んでいること、そして企業間の格差が広がっていることを改めて認知することができました。

それ以上に今回のカリキュラムで有意義だったことは、グループワークでした。

タイムマシンで10年後の未来に行って、そこから過去を振り返って戦略マップを作り上げるという手法はこれまでに経験がなく大変勉強になりましたが、それ以上に世代・経験の異なる皆さんといっしょに、自由な発想で一つの課題を作り上げることができたことは貴重な経験でした。

この経験は私が思い描いていた単なる人材育成ではなく、弊社がDX推進に舵を切った時に、若手・中堅・ベテランの隔てなく目標に向かってスタートできる自信に繋がりました。

今後もこういった機会を積極的に活用させていただきますので、引き続き何卒宜しくお願い申し上げます。

【受講企業より】

DXは時間とともに世の中に認知されつつあります。

今後、DXは当たり前になってくるものであり、この当たり前に対して、企業としてどのように対応できるかが成長や存続につながっていくものと考えています。

この対応の第1歩として今回受講したものであり、ここからの導入に向けた推進がカギになってくると考えています。

受講者については、DX導入の推進役を担ってもらう予定です。

DXの必要性や重要性を社内で協議しながら認識を合わせて方針や目標に展開したいと考えています。

（所属部長）

直方市 C社（金属表面処理業）

5日間の講習でしたが、とても内容の濃い時間を過ごす事ができました。

日本だけでなく海外のDX状況を知ることができ、大変刺激になったと同時に、当社の遅れている状況も再認識でき、危機感を持ちました。

経営会議を模して、DX推進に関するプレゼンを行いました。オペレーター側の要望と、経営者視点での要望を上手く捉えて、双方の問題・要望を解決するために世の中には様々なDX技術があることを学びました。また、こういった考え方で資料作成、プレゼンをする機会は無かったので、大変勉強になりました。

まずは、社内の色々な情報をデータで共有する仕組みを構築してDX推進を図りたいと思います。

5日間、誠に有難うございました。

【受講企業より】

今の製造業のあり方として、技術者のノウハウ可視化と同じ物作りが出来る様にする為にシステムの導入を行い、作業に対する標準化、ネットワーク化、デジタル化を駆使し、他社との差別化に繋がる様に進めて頂きたい。

また、経営の視点からも生かして頂き、今後の自社への取り組みに努めて頂きたいです。

（所属上司）

飯塚市 D社（産業用水処理プラント設計・施工・保守等）

建築業およびサービス業に応用できるものがあればと思い、受講いたしました。

業務に活かしたいARツールや、バックキャスト思考方法など毎回の講座で社内に広めるのが楽しい物事を持ち帰ることができました。

最終日のディスカッションでたっぷりいただいた貴重なご意見はDX化に向けた取り組みの参考とさせていただこうと思っています。

同時に受講した方々のお話も興味深いものが多く、無料とは思えないほど密度の高い5日間で大変勉強になりました。

ファーストステップのデータ化で課題は山積しておりますが、この講座でご縁ができた講師の先生方にご協力願いつつ、当社にとってお客様にとってより良い方法を模索してDX化を進めていきたいと思っています。